

BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.17

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成 18 年 3 月 14 日 (火)

バイオマスプロジェクトチーム

『環境生活部資源循環推進課』

1. 事業の進捗状況 等

○ 木炭新用途開発の報告会

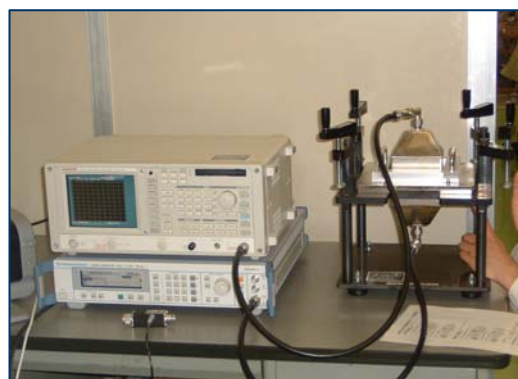
木質バイオマス利活用実用化促進事業で進めている県内中小企業・大学による木炭新用途開発の成果について、第 2 回目の報告会を行いました。(3月3日・千葉市内)

雨水排水浄化資材：雨水浄化を目的とした浸透枡への木炭利用の検討

電磁波シールド資材：木炭の効果測定及び電磁波遮蔽製品の開発

フィルター用資材：フィルターへの木炭の層状コーティングによる水質浄化効果の検証

有害廃棄物処理資材：処理資材への木炭利用



産技研での電磁波シールド効果測定

以上の新用途開発などについて、成果報告と意見交換を実施。これらの研究成果は年度末にまとめる「木炭新用途開発研究成果報告書」で報告する予定としています。



○ 今後のバイオマス利活用に向けて

今年度 2 回目となるバイオマス立県ちばアドバイザー委員会を開催しました。(2月24日・千葉市内)

バイオマスプロジェクトチーム設立後 3 年が経過、年度末までに国の「バイオマス・ニッポン総合戦略」の見直しが予定されていることも踏まえ、今後のバイオマス利活用に向けて意見交換を実施しました。

(委員からの主な意見)

- ・ 事業化における法制面と市場化の問題
- ・ 地域で成功させたバイオマス利活用の PR
- ・ 事業化と将来の可能性としてのシンボルとしてのバイオマスタウン推進
- ・ 県内の地域特性に応じた大規模型と小規模型のバイオマス利活用モデルの推進
- ・ バイオマスを活用した廃棄物問題やリサイクルの小中学生への理解促進 等



2. 国・大学・市町村等との連携

○ 平成17年度バイオマス利活用優良表彰 関東ブロック表彰式

関東農政局管轄地域でのバイオマス利活用推進を目的として、平成17年度バイオマス利活用優良表彰と関東バイオマスシンポジウムが、関東農政局により開催されました。

(3月6日・さいたま新都心合同庁舎1号館)

千葉県からは以下の団体と企業が優良事例として表彰され、シンポジウムの中で事例紹介を行いました。



表彰式



廃食用油回収車 (せっけんの街)

・ 特定非営利活動法人せっけんの街 (我孫子市)

家庭からの廃食用油を回収し、石鹸化やバイオディーゼル燃料化への取り組み。

・ (株) アグリガイアシステム (八街市)

コンビニエンスストアの賞味期限切れのお弁当等の食品廃棄物等を回収し、家畜排せつ物、木屑等と混合するたい肥化への取り組み。

○ 山武町バイオマスタウン・シンポジウム

千葉県内から初めてとなる「バイオマスタウン構想」を公表した山武町において、「バイオマスと共に暮らし、バイオマスと共に栄える“さんぶ”」をテーマとしたシンポジウムが開催されました。

(3月14日：山武町さんぶの森公園文化ホール)

・ 資源循環とバイオマス: 千葉大学工学部立本教授の標記テーマでの基調講演。



基調講演する立本教授

・ バイオマスで地域を豊かに: NPO 法人小川町風土活用センターの阿部理事より埼玉県小川町での生ごみ回収と再資源化の取り組みの紹介。

講演後、山武町バイオマスタウンの今後の方向についてパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッションの様様

○ バイオマスへのLCA手法適用の検討

独立行政法人産業技術総合研究所が実施している「千葉県における環境影響評価手法の研究開発」中間報告会が実施されました。(2月22日・千葉市内)

生ごみ再資源化のコスト・環境影響削減手法や家畜排せつ物の循環利用システム構築等について意見交換を行いました。モデルの実用化に向けた検討を進めます。